

沖縄県立八重山高校郷土芸能部との交流会

8月19日（水）、沖縄県立八重山高校より小成善保校長先生と郷土芸能部生徒及び関係者総勢43名をお迎えして交流会が行われました。

今回の訪問は、東北復興支援・かけはし交流公演と題して、6月20日（土）の地元石垣市民会館大ホールでの公演を皮切りに、8月15日（土）に石垣島を出発、16日（日）に東京、17日（月）北上、18日（火）釜石、19日（水）宮古グリーンピア三陸みやこ駐車場での公演を行い、再び東京に立ち寄り、22日（土）に石垣に戻るというハードスケジュールの中実現したものです。

18日の釜石公演を終えた後、宮古入りし、本校北星館に宿泊。町内には食事場所も商店もなく、御不便をお掛けしたと思います。しかし、19日朝、これまでの疲れを見せず元気にあいさつをしてくれました。

1校時、第一体育館において交流会を行いました。部員、関係者42名による歌と踊り。沖縄ー石垣の奥深い郷土芸能と日頃の熱心な練習に裏打ちされた生徒たちの演技に魅了されました。最後は“巻踊り”という輪踊りで北高生もいっしょに踊りました。

グリーンピアでの公演の後、北星館に置いた荷物を積むために再び来校。

18時。北高生のほぼ全員が見送る中、田老を出発していきました。

【感想】・一度沖縄に行ってみたい。・交流が続けばよい。・元気をもらいました。

沖縄から連れてきたような青空と“最高の笑顔”にあふれた、素敵な一日になりました。

どうぞ、無事におうちにお帰りください。にーふあいゆー（ありがとう）、八重高、郷芸！

